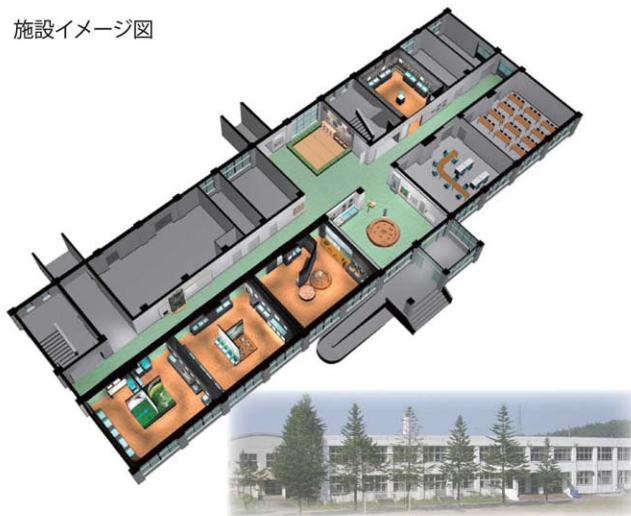


青森市小牧野遺跡保護センター 縄文の学び舎・小牧野館

施設イメージ図



平成24年に閉校になった野沢小学校(小牧野遺跡から約1.5km)を改修し、遺跡の出土品等の展示や保管、遺跡に関する情報発信を行います。

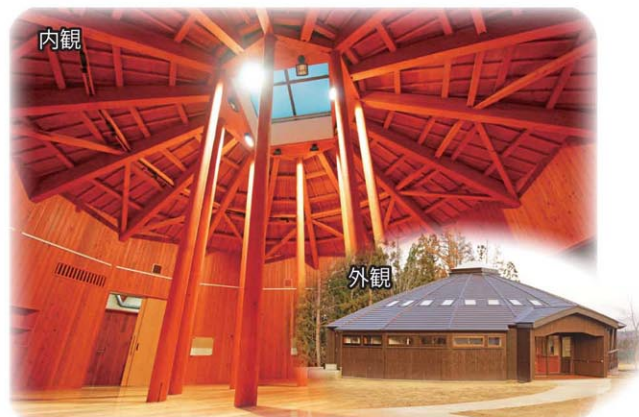
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 12月30日～翌年1月1日(年末年始休業)
- 入館料 無料 ■ 延床面積 2,683.81㎡
- 使用料(1時間につき) 会議室:450円(64.50㎡・定員37名)
体験学習室:710円(92.88㎡・定員48名)
企画展示室:600円(92.88㎡・定員48名)

※小牧野遺跡の保護が図られる目的の場合等には無料。

- 場 所 青森市大字野沢字沢部108番地3
- 駐車場 あり(大型バス可)
- 交通アクセス

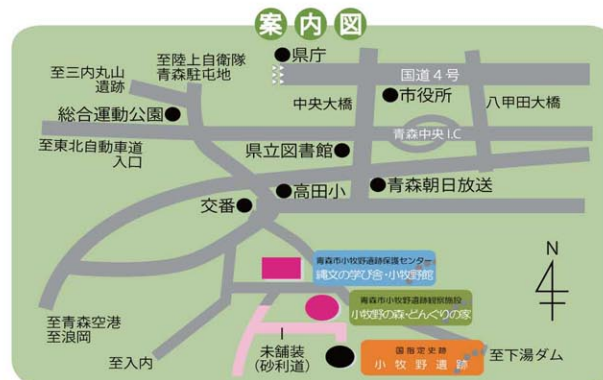
青森駅から……………車で約30分
 新青森駅から……………車で約30分
 青森空港から……………車で約15分
 青森中央I.Cから……………車で約20分
 三内丸山遺跡から……………車で約20分

青森市小牧野遺跡観察施設 小牧野の森・どんぐりの家



小牧野遺跡に隣接し、乗用車・大型バス等の駐車場を完備し、遺跡を解説する機能、及び休憩ホールやトイレ等を備えた施設です。

- 開館時間 ○5月1日～9月30日 午前9時～午後5時
○10月1日～11月15日 午前9時～午後4時
- 休館日 11月16日～翌年4月30日(冬季閉鎖)
- 入館料 無 料 ■ 延床面積 215.44㎡
- 場 所 青森市大字野沢字小牧野41番地
- 駐車場 あり(大型バス2台まで)



・遺跡へ向かう農道は砂利道になっており、木々がトンネル状に茂っている場合もあります。
 ・大型バスは、運行ルート・駐車場の指定や、車種による通行規制があります。
 事前にお問合せください。

国指定史跡 小牧野遺跡



遺跡の概要

土地造成と特異な配石で構築された縄文後期前半(約4,000年前)の大規模な環状列石を主体とする遺跡です。当時の精神生活や社会構造、墓制等を明らかにするとともに、土地の造成や多量な大型石の運搬・設置など、土木工事の実態を知る上で重要な遺跡です。

問合わせ先

[指定管理者] 一般社団法人 小牧野遺跡保存活用協議会
 TEL 017-757-8665 FAX 017-757-8670
 〒030-0152 青森市大字野沢字沢部108番地3
 (縄文の学び舎・小牧野館内)

環状列石の大きさと構造

小牧野遺跡の環状列石は、大規模な労働力の集中によって構築された直径55mにもおよぶ大型の記念物（モニュメント）です。直径35mの外帯・29mの内帯・2.5mの中央帯の3重の輪のほか、一部4重となる弧状の列石や外帯を囲む直径4m前後の環状配石などで構成されています。



環状列石

小牧野式配列

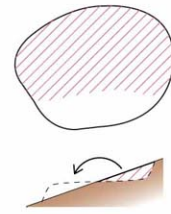


石の組み方

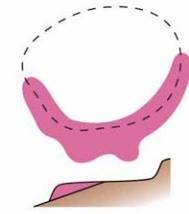
環状列石の外帯と内帯は、楕円形の石を縦に置き、その両側に平らな石を数段積み重ね、あたかも石垣を築くように並べられています。この縦横交互の列石は、全国的にも珍しく「小牧野式」配列（配石）とも呼ばれています。

環状列石と土木工事

環状列石が作られる前、その場所は緩やかな斜面でした。縄文人ははじめ①のように斜面の高い方を削り取り、その土を低い方に盛土しました（②）。その後、石を川から運び、③のように石が並べられました。石は、削り取られた部分や盛土された部分の段差を利用して並べられているため、立体的な構造となっています。また、環状列石は長い年月をかけ土地造成や配石作業が継続して行われて作られたものであることもわかりました。



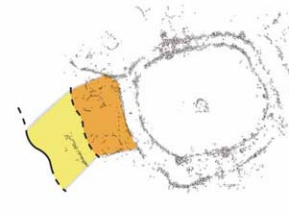
①斜面を切土する。



②斜面へ盛土する。



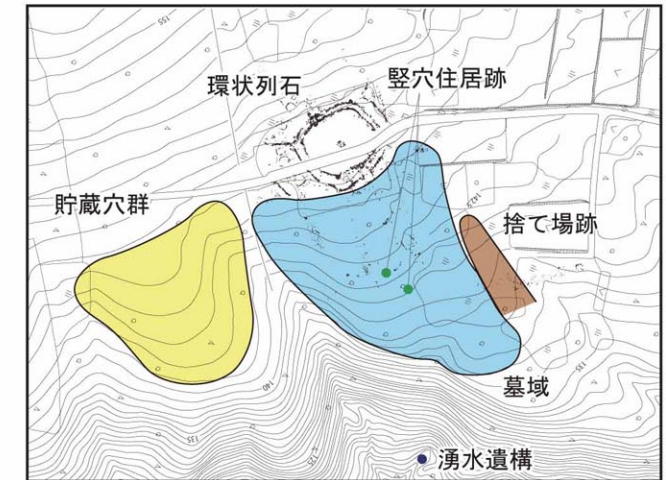
③石を並べる。（配石）



④継続して盛土、配石等を行う。

発見された遺構

発掘調査では、環状列石とともに竪穴住居跡、貯蔵穴、捨て場跡、湧水遺構など生活に必要な遺構のほか、土坑墓や土器棺墓など墓制に関わる遺構も確認されています。



出土した遺物

環状列石に隣接する墓域や捨て場を中心に土器や石器など日常的に使用されている道具のほか、土偶や三角形岩版をはじめとする祭祀的色彩の強い遺物も出土しています。



土偶

多くが板状の胴部に、突き出した頭部をもちます。中には腕や脚を表現した立像的なものもあります。



三角形岩版

小牧野遺跡の代表的な遺物で、これまでに400点を超える数が遺跡から出土しています。

見学マップ

見晴らし台

この場所に立つと環状列石を一望できます。天気の良い日には陸奥湾を望むことができます。※発掘調査で生じた廃土を盛り上げて作った人工の丘です。



土坑墓

100基をこえる土坑墓が環状列石の東側の墓域に分布。墓には円形や楕円形のもの、貯蔵穴を再利用したものなど、さまざまあります。



竪穴住居跡

小牧野遺跡では、環状列石と同じ時期の竪穴住居跡が現在までに2軒確認されており、いずれも墓域（墓場）の中につくられています。



展望所からの眺め

陸奥湾はもとより、晴れた日には遠くの下北半島や津軽半島の一部も展望できます。眼下には縄文人が環状列石をつくるために石を運んだと考えられる「荒川」が流れます。

捨て場跡

捨て場跡は、沢地形へと傾斜が始まる地点に形成されており、多量の土器・石器のほか、土偶や三角形岩版などが出土しています。



青森市小牧野遺跡観察施設
小牧野の森・どんぐりの家